令和6年度第2回栗東市防災会議開催概要

1. 開催日時 令和6年12月2日(月) 10:00~10:40
2. 開催場所 栗東市危機管理センター3階 大研修室
3. 出席者
 - ・委員 竹村会長、池田1号委員、川上1号委員、四谷2号委員、上山3号委員、今井4号委員、佐々木5号委員、千代5号委員、内藤6号委員、岩井6号委員、田中6号委員、平田善之6号委員、溝口6号委員、嶋崎6号委員、平田善久6号委員、上野6号委員、河田7号委員、岩本7号委員、駒井3号委員、青木3号委員、井上3号委員、西村勝3号委員、中嶋3号委員、西村滋3号委員、小林3号委員、高田3号委員、西村嘉3号委員、籠谷3号委員、村瀬3号委員、太田3号委員
 - ・事務局 危機管理課長、危機管理課係長
 - ※欠席者 木原6号委員、河野6号委員、大迫6号委員、西川6号委員
 - ※傍聴者 なし
4. 概要
 1. 会長挨拶
 2. 栗東市地域防災計画の修正について
5. 報告に対する主な意見、提言、質疑等
 - 栗東市地域防災計画の修正について
 - ・前回の修正が令和2年3月だが、市としては3年に1度くらいのペースで修正する方が実情に合うのではないかと。また、災害が起こると国が新しい対策をして知見が変わるため、それに合わせて検討いただくとよいと思う。今回、「し尿処理」など最新の知見を入れているのは評価できる点だと思う。
 - 国の制度改正等に合わせて検討を行うように努めていく。また、大規模災害が起こった際には、その知見を計画に随時反映するようにしていく。
 - ・若手職員に危機管理課の兼務辞令を出している自治体や、各課に防災調整担当職員を設けている自治体がある。栗東市も防災に強いまちづくり、市役所の体制づくりのために検討いただければと思う。
 - 市役所全体で実効性のある防災体制を確立するにはどうすればいいか考えていきたい。紹介いただいた自治体の体制についても参考にして進めていきたい。
 - ・資料1の24ページ「緊急輸送道路の整備」について、電柱が倒れて道を塞ぐ危険性もあるが、電柱を活用した電気の供給も行わなければならないので、占用制限について強調しすぎると、

今後こういった形で電気の供給をしたらよいのか悩ましく感じる場所である。

→緊急輸送道路については、物資の輸送等に重要な道路である。道路を塞ぐという表現は、そのような危険性もあるというところで表記したものである。関係機関と協力しながら、緊急輸送道路の通行の確保をしていきたいと考えている。

・「占用制限」とはどのようなものか。

→緊急輸送道路にあたる市道では、電柱を道路敷ではなく民地に立てることや埋設するよう指導していくということである。

・地域防災計画を修正した後の周知が重要だと思うが、どのように行うのか。

→地域防災計画の概要版を作成して、職員や市民にわかりやすく説明して周知を行う。

・緊急輸送道路の沿線に旧耐震の家屋やマンション等が建っているのが多く見受けられるが、その割合は把握しているか。

→他課で担当しているので、数字は持ち合わせていないが、緊急輸送道路沿いの耐震診断や耐震改修を重点的に呼びかけていると聞いている。

→本市においては、耐震化率の高い 92%を超えており、滋賀県で最も高いと報道で見たことがあるが、現状に甘んじることなくさらに高みを目指していきたい。

以上